

まちかどレポート

身近な話題などお知らせください。情報をお待ちしています。
【問】企画課広報広聴係 ☎ 77・8425



①ブロック対抗の綱引き ②一糸乱れぬダイナミックな応援団演舞を披露

柳川でオリンピック?

柳川高校体育祭「柳五輪」を開催

7月9日、柳川高校の生徒928人が参加した体育祭がありました。オリンピックのシンボルマークに使われている5色に分かれてブロックを構成。綱引きをしたり、ダンス部や吹奏楽部、書道部がパフォーマンスをしたりしました。また、応援団演舞では工夫を凝らした圧巻の演舞を披露。体育委員長を務めた松本優星さんは「昨年はコロナの影響で体育祭がなく、残念だったが、今年は昨年分まで、一致団結して最高の演舞ができた」と目を輝かせて話してくれました。



②

市民文化会館北側のスロープ付き船着き場から舟に乗る一行



誰もが楽しめる観光コースを舟に乗って歩いて妨げとなる箇所を確認

7月11日、障がい当事者と考える柳川まちづくり研究会主催のモニタリングツアーがありました。これは、障がいを持つ人やベビーカーを使う子育て世代など誰もが柳川観光を楽しめるようにと、同会と市が令和元年度から協働で取り組んでいる事業の一環。一行は、昨年開館した市民文化会館の船着き場で車イスでの舟への乗り込みや沖端地区で歩行ににくい箇所などを確認しました。同会の田嶋寿之代表は「3月までにみんなが楽しめる観光マップを作りたい」と目標を話しました。

ジャケットを手渡す田口さん（中央）と桜井さん（左）



中山大藤をCDジャケットに 田口悌治さんと桜井ゆみさんがCDを作成

市出身のジャズギタリスト田口悌治さんと、ジャズシンガーの桜井ゆみさんが、中山大藤の写真ジャケットにしたCDを作成しました。2人が所属するジャズバンドは、毎年、水の郷や中山大藤まつりでコンサートを開催。コロナ禍で大藤まつりが中止になる中、家でジャズを楽しんでもらおうと企画しました。ジャケットの写真は、大藤まつりが大好きという桜井さん自ら撮影。9月20日には田口さんが水の郷でも公演予定です。詳しくは17ページをご覧ください。

泥に足をとられながらも苗を植える児童



みんなで助け合って植えたよ 矢ヶ部小学校で田植え体験

6月25日、矢ヶ部小学校（江頭彰子校長）の全児童110人が、3グループに分かれて、同校近くの田んぼで田植えを体験しました。子どもたちに農業の大変さや体験する喜びを感じてもらおうと毎年開催。5年生が5月から毎日水やりをして育てた苗を植えました。5年生が「低学年と協力して田植えができた。毎日、苗に水やりをして農業の大変さが分かった」と協力してもらった農家へ感謝の言葉を伝えました。今回植えたもち米は11月に開催する「ふれあい広場」の餅つきで使う予定です。

大好物というトウモロコシを買いに訪れた子どもたち



甘いトウモロコシをいただきます 干拓育ちのスイートコーン販売会

橋本町の柳川むつごろうランドで6月26日、柳川むつごろう会主催のスイートコーン販売会がありました。新型コロナウイルス感染防止のため、今回は収穫体験を中止して、販売のみ実施。干拓地で育つスイートコーンは、塩分を含んだ土壌で有明海の潮風を浴びて育つため、糖度が高いのが特徴です。1セット6本入り1000円で販売されました。市内から訪れたトウモロコシが大好きな男の子は「お母さんにゆでてもらって食べるのが楽しみ」と話してくれました。

強烈なアタックを決める柳川ジュニアの選手



目指すは未来のオリンピック選手 小学生バレーボール大会で熱戦

全日本バレーボール小学生大会筑後地区南部大会が7月4日にありました。市民体育館で開催された女子の部には7市町村の14チームが参加。日頃の練習の成果を発揮し、熱戦が繰り広げられました。声を出し合い、息の合ったチームプレーを見せた柳川ジュニア女子が決勝までの3試合を1セットも落とさずに完全優勝を達成。また、大木町で開催された男子の部では柳川ジュニア男子が、混合の部では三橋ジュニアが優勝しました。この3チームは筑後地区大会に駒を進めます。

金子市長に受賞を報告した伝習館高校の自然科学部



掘割で再びたくさんのウナギを 伝習館高校自然科学部が農林水産大臣賞

伝習館高校の自然科学部が、日頃の研究を評価され、第23回日本水大賞の農林水産大臣賞を受賞しました。同部は柳川の掘割をニホンウナギの保護区にするため、ウナギの飼育をして、これまでに7516尾を放流。今回は、飼育する水槽にクスノキの落葉を入れるとウナギの生存率が上がることなどを発見し、評価されました。7月5日、金子市長に受賞を報告した同部部長の大橋壮汰さんは、「自信と誇りをもってさらに活動の幅を広げていきたい」と話しました。